

柳生好彦氏講演会

「オリーブが開く小豆島の未来——地域振興の鍵」

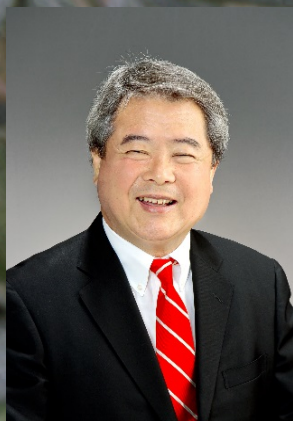
日時：2017年5月11日（木）12:30 - 13:30

場所：東京大学駒場キャンパス 101号館 2階 15号室

講演者：柳生好彦さん（小豆島ヘルシーランド株式会社 前社長・現相談役）

備考：入場無料・事前登録不要

教育プロジェクト1「生命のかたち」では、「小豆島ヘルシーランド株式会社」相談役の柳生好彦さんをお招きし、講演会を実施します。柳生さんは、1985年に瀬戸内海小豆島のオリーブを化粧品として製造・販売する同社を設立し、事業を拡大されてきました。同時に、オリーブを通じた小豆島の観光開発や、アートプロジェクトによる街づくりの試みなど、地域振興と密着する様々な活動を展開されています。人口減少が加速する日本において、地域経済とコミュニティを再活性化するために今どのような視点が重要なのか。人と土地を結ぶ新しい経済のスタイルとして、どのような「かたち」が可能なのか。このたびの講演では、柳生さんがこれまでに行われた活動を具体的にご紹介いただきながら、小豆島の地域振興にける想いを語っていただきます。



講演者プロフィール

昭和27年生まれ。少年時代より父の経営する柳生商店を手伝い、16歳で学業の傍ら家業を継ぐ。昭和60年、小豆島のオリーブを活かした化粧品づくりを決意し、小豆島ヘルシーランド株式会社を設立。現在は同社相談役。オリーブを通じて人々を心身両面から健康にする事業に取り組む傍ら、平成26年に「観光」客を300万人に増やすことを目指して「一般社団法人 瀬戸内・小豆島観光推進機構」を立ち上げ、小豆島のさらなる発展のため新たな試みのスタートを切る。

主催：東京大学大学院博士課程教育リーディングプログラム

「多文化共生・統合人間学プログラム（IHS）」教育プロジェクト1「生命のかたち」

お問い合わせ：project1@ihs.c.u-tokyo.ac.jp